沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科博士論文等（論文博士）審査基準

令和6年9月4日
沖芸大基準第12号

（趣旨）

第1 沖縄県立芸術大学学位規程（沖芸大規程第57号）第5条の2に基づき提出された博士論文等の審査について、沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科博士論文等（論文博士）審査規程（沖芸大規程第151号）第4条第4項の規定に基づき基準を定める。

（評価基準）

第2 博士論文等について、以下の基準により評価する。

1 博士論文の評価基準

- (1) 研究テーマが適切に設定されていること。
- (2) 研究テーマに関して研究史が適切に考察されていること。
- (3) 研究テーマに関して新しい知見が含まれていること。
- (4) 論理的展開、実証的分析の妥当性。

【論文提出要件】

[比較芸術学研究領域・民族音楽学研究領域]

学会誌などにおいて博士論文の内容に関連する査読論文を3本以上発表し、又は博士論文の内容に関連する学術著書（単著）を出版していること。ただし、本学芸術文化学研究科に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けて退学した者（以下「単位修得満期退学者」という。）が、退学後5年以内に審査を受ける場合はこの限りでない。

また、博士論文は次の形式要件を満たしていること。

A4用紙（1,200字詰）150枚以上（図版・図表・文献リスト等を含む）

[芸術表現研究領域]

博士論文は次の形式要件を満たしていること。

A4用紙（1,200字詰）75枚以上（図版・図表・文献リスト等を含む）

2 研究作品の評価基準

- (1) 研究テーマとの関連が適切であること。
- (2) 提出作品（実践的研究成果物等を含む）が博士の学位を授与するにふさわしい質と量であること。
- (3) 創造性、独創性を有する作品であること。
- (4) 表現技術・方法についての研究が十分になされ、高度に習熟されていること。
- (5) 研究に将来性があり、専門分野の発展に寄与する可能性を有していること。

【作品提出要件】

国内外の相当規模の公募展において2回以上の入賞、3回以上の個展の開催又は学会等において3回以上の研究発表の実績があること。ただし、本学芸術文化学研究科の単位取得満期退学者が、退学後5年以内に審査を受ける場合はこの限りでない。

3 研究演奏の評価基準

- (1) 研究テーマとの関連が適切であること。
- (2) 演奏作品（実践的研究成果物等を含む）が博士の学位を授与するにふさわしい質と量であること。
- (3) 演奏作品に対する的確な理解を有していること。
- (4) 演奏技法および表現力についての研究が十分になされ、高度に習熟されていること。
- (5) 演奏史を踏まえた時代性を反映しており、国際的な通用性を有していること。

【研究演奏要件】

国内外の相当規模のコンクールにおいて2回以上の入賞、3回以上のソロリサイタルの開催又は学会等において3回以上の研究発表の実績があること。ただし、本学芸術文化科学研究科の単位取得満期退学者が、退学後5年以内に審査を受ける場合はこの限りでない。

(雑則)

第3 この基準に定めるもののほか、博士論文等(論文博士)の審査に必要な事項は、芸術文化科学研究科委員会の議を経て、別に定める。

附 則 (令和6年9月4日学長決裁)

この基準は、令和6年9月4日から施行し、令和3年4月1日から適用する。